

イノベーション活動(Yume Pro カルチャー改革)

OKIは「昨日よりも今日、今日よりも明日」と常に新しいことにチャレンジし、OKIの未来をつくっていく、という経営層の強い想いのもと、現状に満足せず革新的な挑戦を続ける企業文化を醸成し、強いリーダーシップを持って、OKI独自の「全員参加型イノベーション」を全社で推進してきました。この活動は、新規事業の創出や既存事業の変革だけでなく、日々の業務改善も含めて、イノベーションと捉えることが特徴です。

私たちは、イノベーション・マネジメントシステム(IMS)「Yume Pro」を活用し、「制度面」と「文化改革施策」の両輪で全社カルチャー改革を推進し、社内の活動を内部から外部へ向けた活動へ拡張していきます。さらに、イノベーションの原動力となる人財の発掘・育成にも力を入れています。「IMSを共通言語として、市場(お客様)・自社課題解決策の策定を行い、社内外の関係者を巻き込み、ソリューションの具現化を諦めずに実行できる人財」を「ハイポテンシャル・イノベーション人財」と定義しました。2025年からは未経験者にもベテランとのペア活動の機会を提供し、実践力を高めながら個々の成長と全社のレベルアップを図ります。

OKIの企業カルチャー改革の取り組み(内部)

■Yume Proチャレンジ

2018年度に「Yume Proチャレンジ」を開始して以来、「業務改善への拡大」や「グローバル展開」により活動を拡大しています。2024年度はこれまでの量から質への転換を図った成果を礎に、事業への貢献度向上を重視しています。経営層が参画する仕組みを設けるなど、着実な事業化検討を推進してきました。

さらに、蓄積されたノウハウを活かし、類似アイデアの統合や部門横断による価値最大化の提案を積極的に行うことで、当社の持続的成長と価値創造につなげていきます。

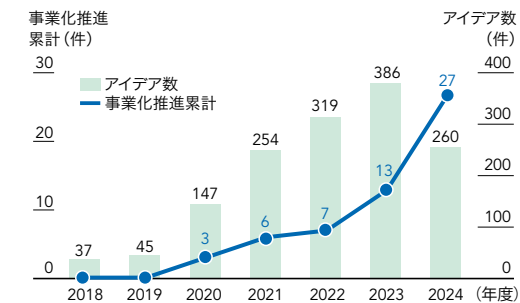
■ISO 56001認証取得

2023年度に全社でIMS規程の運用を開始し、2024年9月に国内製造業初のISO 56002(IMSガイダンス規格)に基づく英国規格協会の認証(BSI Kitemark認証)を取得、2025年7月には国内で初めてISO 56001(IMS認証規格)を取得しました。

今後はISO 56001を共通言語として、お客様やパートナー企業との共創を強化し、イノベーションのグローバル展開や社会課題の解決、新規事業の成長を推進していきます。

詳細は、以下プレスリリースをご参照ください。
日本初となるイノベーション・マネジメントシステムの国際規格「ISO 56001」認証を取得

Yume Proチャレンジ件数



認定書授与式での記念撮影

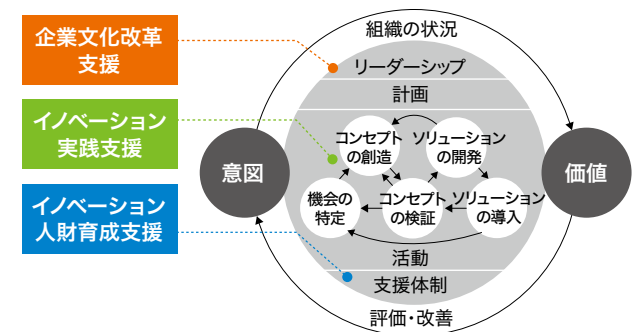
共創ワークショップの進化とIMS支援サービスの展開(外部)

IMSを基盤としたデザイン思考を活用し、お客様とともに価値を生み出す「共創ワークショップ」をさらに進化させています。戦略的パートナーとの重点領域における初期共創活動も活発化しており、Yume Proチャレンジやグローバル戦略と連携しながら、事業部門への確実な橋渡しを行うことで、新規事業の成功率向上を目指しています。

また、Yume Proの仕組みを外にも展開し、お客様のイノベーションを支える「IMS支援サービス」の試行も開始しました。すでに複数のお客様にご利用いただいております。今後さらにサービス品質の向上を図り、本格導入を目指します。

詳細は、以下プレスリリースをご参照ください。
OKI、ISO 56001認証取得の実績を活かし「IMS支援サービス」提供開始

IMS要素と提供サービスの関係



※出典:ISO 56001 Introduction Figure1

ビジネス×生成AI「ダ・ビンチ グラフ」

「ダ・ビンチ グラフ」はYume Proチャレンジ2023から生まれた、生成AIを活用したイノベーション推進ツールです。2025年5月から全社で試行を開始し、1カ月で約1,000名が利用するなど、活用が拡大しています。IMSベースのポリシーや直感的なUIなどを特長とし、対話形式で課題抽出やアイデア創出を支援します。今後はエコシステム構築の中核ツールとして外部提供も見据え、機能強化と実績拡大を目指します。



※生成AIで作成した画像です